

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域行事へ積極的に参加し、「おりづる」の存在を地域の方々へ知って頂く事はできたが、地域の方々の訪問が殆どない。	○ 地域の方々の訪問が増える	○事業所近隣の法人職員へ来所の声掛けをする。 ○推進委員の皆様へおりづるの行事への参加の声掛けをする。 ○業所近隣地区ボランティアグループへ来所の依頼をする。 ○近隣幼稚園・小学校の行事への参加	12ヶ月
2	13	年2回の避難訓練、また、事業所独自でも約3ヶ月に1回訓練を行っている。緊急連絡網はあるが非常召集訓練を実施したことはない。	○ 災害時の対応が確実に実行することができる	○近隣者・近隣職員を交えた火災避難訓練の実施(日中・夜間) ○非常召集訓練の実施	12ヶ月
3	9	個々の能力はまだまだあると思うが引き出す時間、場の提供が確立されていない。	○ 入居者一人ひとりの潜在能力を引き出す	○個別ケアの実施。 ○小さな気づきも職員間で共有する。 ○自信が持てるような声掛けの実施。(相手を思いやる声掛け) ○その時の行動、表情、言葉を記録に残す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

下さい。